

### 東京女子医大「安全委」有名無実

女児死 再発防止策も検討せず  
亡事故

東京女子医大病院（東京都新宿区）で昨年三月、心臓手術を受けた女児（当時十二歳）が死亡した医療事故で、安全対策のため院内に設置されている委員会が機能していなかったことが、厚生労働省と東京都が九日実施した立ち入り検査でわかった。同省では、期限を切って改善策の報告を求める方針。

同省によると、同病院では、事故や事故になりかねない事例が発生した場合の

院内報告制度が整備されているが、今回の事故については、昨年七月に調査委員

会を設けるまで、報告は上がらなかった。

また、院内には院長ら幹部がメンバーとなっている安全管理委員会、教授クラスで構成する事故防止対策委員会があり、毎月

一回ずつ開催されているが、昨年十月に調査委員会が報告書をまとめた後も、両委員会での事故について取り上げることはなく、再発防止策も検討されなかった。病院側は遺族の対応を優先していたためと、同省に説明したという。

同省では「事故防止体制がありながら、まったく機能していなかった点が問題だ」としている。

女子医大小児心臓手術事故

厚労、立ち入り検査

2002年1月10日 読賣新聞